



猿の被害対策には追い払いが効果的!?

猿の特性を知って地域全体で猿を追い払いましょう

市内には30匹から60匹の猿が8群存在しており、家屋への侵入や、農産物への被害が相次いでいます。こういった被害に遭わないために、猿の生態や対策方法をホタルンと一緒に学びましょう。

伊吹山テレビ
6月10日号



猿の生態を知ろう!



そもそも猿ってバナナしか食べないんじゃないの?

猿はなんでも食べるよ! 学習能力が高く、五感も人と同じくらいだから、畑の野菜類を一度食べて、栄養価が高いことを学習すると好んで食べるようになるんだ。



市職員



なるほど! じゃあ早く市役所の人に捕獲してもらわなきゃ!

もちろん、捕獲もするんだけど、他にも3つの方法(環境整備・追い払い・物理的防護)があって、実はその中でも一番効果的な対策は、追い払いなんだ! ただ、正しい追い払いをしないと効果的とは言えないから注意してね!



被害対策(環境整備・追い払い・物理的防護・捕獲)で猿を撃退!

特に効果的!!

■環境整備

耕作放棄地の藪の刈払い、放任果樹の伐採、ひこばえのすき込み、残さの除去など

Point

藪などは格好の隠れ場になり、放任果樹や畑の残さ、水稻を刈り取り後のひこばえは、猿の餌場となるため、明日からでも環境整備を行いましょ。

■追い払い

大声を上げる、追い払い道具を使うなど

Point

猿を見かけたら何もしていなくても必ず山の奥まで追い払うようにしましょう。人が何もしてこないことが分かると、どんどん大胆になり最終的には被害につながります。

■物理的防護(追い払いが困難な場合)

簡易猿害防止柵、電気柵、複合柵のいずれかを設置

Point

簡易猿害防止柵だけでは完全に侵入を防げないため、追い払いとの併用が必要です。また、電気柵はペグなどでしっかり固定することが大切です。主流は複合柵で、鹿や猪被害も防ぐことができます。

■捕獲

主に地域狩猟者団体による鉄砲捕獲と、市で管理運用している30基の猿檻による捕獲

Point

捕獲できる頭数には制限があるため、農作物被害を減らすには、追い払い+物理的防護の2点を行いましょ。



いろんな対策があるんだね! でも実際に猿がどこにいるかが分からないのかなー?

実はそれが分かる「動物位置情報システム」というものがあるんだ! 猿だけでなく、動物がいつでもどこで何をしているかGPSを使って把握するよ!



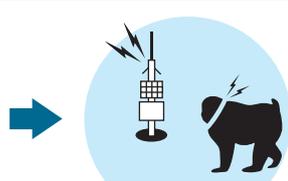
NEW

新たな取り組み「動物位置情報システム」!

仕組み



①猿にGPS首輪を取り付ける



②調査地域に設置したアクセスポイント(基地局)で位置情報を自動受信



③スマホやパソコンで位置情報を確認できる

現状把握や捕獲、対策、効果検証に役立っています



※今年度は一部地域のみ利用開始

猿の対策で大切なことは、**根気よく正しい対策を行うこと**です。追い払いの効果がない場合は、山の奥へ奥へと追い払う行為ができていないことが考えられます。猿は学習能力が高いので、追い払いを行わない人間は警戒しません。一人ひとりが猿害対策への意識を高めて、集落の農作物を守っていきましょう。



問 市 まち保全課 ☎53-5175 FAX 53-5179